

事務事業名	田井小水力発電所維持管理事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	公共交通・国際交流グループ	課長名	小川 忍
施策名	(05) 自然環境・景観の保全	担当者名	狩野明芳	電話番号 (内線)	0854-40-1014 3519
基本事業名	(013) 自然環境の保全	予算科目	会計 01 11 01 05 81 50 1	中事業	発電所管理事業

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	田井小水力発電所の施設維持管理を行う事業。平成17年にRPS法に定める新エネルギー等発電設備として認定を受け、環境負荷の低いエネルギー利用促進に寄与している。中国電力との電力供給契約による発生電力の売電。故障の発生を未然に防止し、低コストで事業を継続するための日常の維持管理業務と計画的な修繕の実施。	昭和32年農耕地帯の電力不足解消と田井地区の豊富な水量の活用を目的に農山漁村電気導入促進法の適用を受け田井農協により設置。昭和41年に経営業務を吉田村が受託し、平成16年7月には設置者と経営者を一元化し、吉田村に事業譲渡され、11月に合併に伴い雲南市に継承した。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	③ 事業費の内訳(詳細)																																																																																								
日常の維持管理のための非常勤職員の報酬及び修繕費用、電気保安管理委託など。	通常維持管理業務の実施 売電に関する事務処理	<table border="1"> <tr><th>事業費</th><th>単位</th><th>21年度(決算)</th><th>22年度(決算)</th><th>23年度(決算)</th><th>24年度(計画)</th><th>25年度(計画)</th><th>全体計画</th></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td>千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td>千円</td><td>3,418</td><td>4,355</td><td>4,640</td><td>4,187</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>事業費計(A)</td><td>千円</td><td>3,418</td><td>4,355</td><td>4,640</td><td>4,187</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>正規職員従事人数</td><td>人</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr> <tr><td>延べ業務時間</td><td>時間</td><td>242</td><td>474</td><td>515</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>人件費計(B)</td><td>千円</td><td>923</td><td>1,843</td><td>2,030</td><td>0</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>千円</td><td>4,341</td><td>6,198</td><td>6,670</td><td>4,187</td><td>0</td><td></td></tr> </table>	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画	国庫支出金	千円							県支出金	千円							地方債	千円							その他	千円	3,418	4,355	4,640	4,187			一般財源	千円							事業費計(A)	千円	3,418	4,355	4,640	4,187	0		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2		延べ業務時間	時間	242	474	515				人件費計(B)	千円	923	1,843	2,030	0	0		トータルコスト(A)+(B)	千円	4,341	6,198	6,670	4,187	0	
事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画																																																																																			
国庫支出金	千円																																																																																									
県支出金	千円																																																																																									
地方債	千円																																																																																									
その他	千円	3,418	4,355	4,640	4,187																																																																																					
一般財源	千円																																																																																									
事業費計(A)	千円	3,418	4,355	4,640	4,187	0																																																																																				
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2																																																																																				
延べ業務時間	時間	242	474	515																																																																																						
人件費計(B)	千円	923	1,843	2,030	0	0																																																																																				
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,341	6,198	6,670	4,187	0																																																																																				

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標																																															
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 非常勤職員等による日常の管理・保守 売電に関する事務処理 軽微な施設修繕 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 非常勤職員等による日常の管理・保守 売電に関する事務処理 軽微な施設修繕	<table border="1"> <tr><th>指標名</th><th>単位</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(目標)</th><th>25年度(目標)</th><th>最終(目標)</th></tr> <tr><td>ア 年間発電量</td><td>kw</td><td>833,600</td><td>797,140</td><td>913,722</td><td>804,000</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>イ 発電量報告書受理数</td><td>回</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>エ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>オ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)	ア 年間発電量	kw	833,600	797,140	913,722	804,000			イ 発電量報告書受理数	回	12	12	12	12			ウ								エ								オ						
指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)																																										
ア 年間発電量	kw	833,600	797,140	913,722	804,000																																												
イ 発電量報告書受理数	回	12	12	12	12																																												
ウ																																																	
エ																																																	
オ																																																	

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標																															
	田井小水力発電所で発電される電気	<table border="1"> <tr><th>指標名</th><th>単位</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(目標)</th><th>25年度(目標)</th><th>最終(目標)</th></tr> <tr><td>ア 発電所数</td><td>箇所</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>イ 年間発電量</td><td>kw</td><td>833,600</td><td>797,140</td><td>913,722</td><td>804,000</td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)	ア 発電所数	箇所	1	1	1	1			イ 年間発電量	kw	833,600	797,140	913,722	804,000									
指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)																										
ア 発電所数	箇所	1	1	1	1																												
イ 年間発電量	kw	833,600	797,140	913,722	804,000																												
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標																															
	環境にやさしい電気エネルギーの安定供給 低コストで安定した発電所の経営 (発電量の維持と維持管理費の抑制)	<table border="1"> <tr><th>指標名</th><th>単位</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(目標)</th><th>25年度(目標)</th><th>最終(目標)</th></tr> <tr><td>ア 年間CO2削減量(対石油火力発電)</td><td>t</td><td>152.5</td><td>145.9</td><td>167.2</td><td>147.1</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>イ 年間売電収入</td><td>千円</td><td>9,628</td><td>9,207</td><td>10,634</td><td>9,429</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ 年間維持管理費</td><td>千円</td><td>4,341</td><td>6,198</td><td>6,670</td><td>5,200</td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)	ア 年間CO2削減量(対石油火力発電)	t	152.5	145.9	167.2	147.1			イ 年間売電収入	千円	9,628	9,207	10,634	9,429			ウ 年間維持管理費	千円	4,341	6,198	6,670	5,200	
指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)																										
ア 年間CO2削減量(対石油火力発電)	t	152.5	145.9	167.2	147.1																												
イ 年間売電収入	千円	9,628	9,207	10,634	9,429																												
ウ 年間維持管理費	千円	4,341	6,198	6,670	5,200																												
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標																															
	将来にわたって健全で安定的な発電事業の継続	<table border="1"> <tr><th>指標名</th><th>単位</th><th>21年度(実績)</th><th>22年度(実績)</th><th>23年度(実績)</th><th>24年度(目標)</th><th>25年度(目標)</th><th>最終(目標)</th></tr> <tr><td>ア 自然環境が守られていると感ずる市民の割合</td><td>%</td><td>70.3</td><td>73</td><td>75.3</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)	ア 自然環境が守られていると感ずる市民の割合	%	70.3	73	75.3				イ														
指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)																										
ア 自然環境が守られていると感ずる市民の割合	%	70.3	73	75.3																													
イ																																	

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
建設から50年を経過し、設備、施設の老朽化が進んでいる。主要設備の更新が必要になってきているが、多額の費用がかかることが予想され、厳しい状況である。一方、環境負荷の少ないクリーンなエネルギーとして見直され、注目を集めている。	非常勤の嘱託職員を1名配置し、日常の細やかな保守点検と定期的なメンテナンスにより、管理経費の削減に努めている。主要設備の更新のためにも、収入金額の一部の積立も必要である。	発電所管理人(嘱託)からは、設備の更新または大規模な修繕を望む声がある。議会からは発電所の存続意義、目的を明確にするとともに、将来的な修繕計画と基金の積み立てを行う必要であると意見が出されている。

事務事業名	田井小水力発電所維持管理事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ 環境負荷の低いエネルギーの利用促進や水資源の有効活用として、環境に配慮した生活環境づくりにつながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ 基本的には売電料収入を事業の財源とし、税金は投入されていない。農村地域の電力不足解消という事業の当初の目的は達せられていることから、必ずしも事業の継続が必要ではない。環境負荷の低いエネルギーの利用推進と売電収入の点で事業効果があるが、事業目的を明確にする必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ 田井小水力発電所の維持管理事業として、現状で妥当であると考え。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↘ 設備の老朽化に伴う小規模な故障の発生があるが、大規模な設備の更新が難しい状況を考慮すると、日常的な保守管理と定期的なメンテナンスにより、現状の設備における故障の発生は最小限に抑えられていると考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↘ 事業を廃止した場合、河川法に基づく原状回復の義務等により河川工作物の撤去等を行う必要が生じ、多額の費用がかかることが想定される。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ 類似の事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↘
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 大規模な故障発生を抑止のために計画的な点検・修繕を行うことが事業費の削減につながることから、現状で必要最小限であると考え。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 非常勤嘱託職員による日常の管理業務、電気主任技術者の外部委託などを既に行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ 市直営の事業として、売電料収入から維持管理費を差し引いた利益部分は一般財源となり、公平に運用されている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公共関与の妥当性について見直しを行う余地があるが、農協から事業譲渡を受けた経緯や、県企業局との協議において電気事業が苦しい状況のなか県への移管はできないとの見解を踏まえ、今後の事業運営の方向性を決定する必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
今後の事業運営の方向性検討上、避けて通れないのが相当な費用負担を伴う修繕費の捻出である。売電料収入から維持管理費を差し引いた残高額の積立ができないか、財政当局等交えた検討を行う必要がある。																							